

道徳年間指導計画 6 年生

重点目標

	内容項目	〔主題名〕 教材名 (出典)	主題構成の理由	※ねらい ○発問 ◎中心発問	他の教育活動等との関連	『わたしたちの道徳』 「高知の道徳」 との関連	地域・家庭との連携	評価・ 振り返り
四月 (第二週)	礼儀	〔挨拶する心〕 1. エレベーターと私 (みんなのどうとく)	ちょっとした挨拶が相手との距離を縮め、親しくなる契機となることは、日常よく経験することである。そのためにも、礼儀作法について正しく理解し、時と場に応じた適切な言動や、相手の立場に立った心のこもった接し方ができるようにすることが大切である。本時は、おじさんが返してくれた挨拶に視点を置き考えることで、他者を人間として認め、尊重し合う、人間関係の最も基本となる大切さに気づかせることができる。	※互いに認め合い尊重することが人間関係の基本であることを知り、人間関係を円滑にするために欠かせない、礼儀の大切さについて自覚を深める。 ○挨拶したのに無視された時、「わたし」はどんな気持ちだったでしょう。 ◎いつも重い空気が流れていたエレベーターが、温かいあいさつができる場になったのは、なぜだと思いますか。	国語 「カレーライス」 生活目標 「あいさつをしよう」 「挨拶運動」	＜終末＞ P. 56 を活用する。	あいさつ運動について話す 保護者・地域の方の参画	資料 ()
四月 (第三週)	よりよい学校生活、集団生活の充実	〔よりよい学校に〕 2. きえた紙くず (みんなのどうとく)	自分の学校に愛着をもち、先生を敬愛し、友だちや校舎などをいとおしむ気持ちが愛校心である。そしてそれは、学校を誇りに思い、精神的な心のよりどころにもつながっていくものである。したがって学校を愛する気持ちが、大事な自分たちの学校をよりよくしていくとする意欲として、色々な場面で表れていくことを期待したい。	※一人一人が自分の通う学校に愛着をもち、みんなで協力して、さらによりよい学校生活が送れるような快適な学校づくりをしていこうとする心情を育てる。 ○運動場が散らかることが多くなって、「わたし」はどんな気持ちでゴミを拾っていたでしょう。 ◎捨てる人より拾う人の方が多くなったことについて、みんなはどんなことを考えますか。	「入学式」 「縦割り班編成」 「1年生を迎える会」 「委員会活動」	＜終末＞ P. 160、161 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
五月 (第一週)	善悪の判断 自律 自由と責任	〔規律ある生活〕 3. 修学旅行の夜 (明日をめざして)	自分勝手な行動と規律のある行動を考え、自由の行為に責任が伴うことに気づくようにし、規律ある行動をしようとする態度を育てたい。	※自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重するとともに、自分の責任をふまえた自律的な行動をしようとする態度を養う。 ○消灯後、静かに寝ようという班の約束が守れなかったのは、なぜでしょう。 ◎先生が言った「自由と自分勝手とのちがいは、どんなことでしょうか。	国語 「時間の時間と心の時間」 「修学旅行」	＜終末＞ P. 30、31 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()

五月 (第二週)	規則の尊重	[みんなが気持ちよく生活するために] 4. だろだらけのスパイク (みんなのどうとく)	人々の社会生活は遵法の精神の基に成り立っている。自分一人ぐらいは決まりを守らなくてもいいだろうと、自分の権利ばかりを主張して、義務を果たそうとしない態度が、他者に多大な迷惑をかけることになることを考えなくてはならない。そのことを踏まえて、公德心を養っていくことが大切である。	※自他の権利を尊重しながら、義務を果たすことで望ましい社会生活を送ろうとする心情を養う。 ○達也や健太が「お客さんだからいいんだよ。」と言ったとき、ぼくはどんなことを考えたでしょう。 ○コンビニエンスストアの前にいる高校生の姿を見て、ぼくたちはどんな気持ちになったでしょう。 ◎嬉しそうな諒や達也を見たぼくは、誰かに褒められたわけでもないのに、なんだか嬉しい気持ちになったのはどうしてだろう。	生活目標 「学校のきまりをまもろう」 「避難訓練」	<終末> P. 120、121 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
五月 (第三週)	親切、思いやり	[温かい言葉] 5. 心に感じた「どうぞ」の一言 (明日をめざして)	おじいさんの立場と自分のおかれている立場を対比的に扱い相手に出来ないことを考える自分に出来ることをすることの大切さに気づくようにする。	※相手の立場にたって、思いやりの心を持ち、親切にしようとする心情を育てる。 ○列車の中で経っていたおじいさんに席をゆずらなくては、と思いながらなかなかきかけがつかめない「ぼく」は、どんなことを考えていただろう。 ○たった一言「どうぞ」と言えなかった「ぼく」はどんなことを考えていただろう。 ◎あんなおじいさんになりたいと言った「ぼく」はどんなことを考えていただろう。	「修学旅行」	<終末> P. 63 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
五月 (第四週)	真理の探究	[柔軟な発想でものごとを考える] 6. ミッキーマウスの誕生 (みんなのどうとく)	変化の激しい現代において、人はそれぞれ主体性を持って柔軟な発想で物事を考えていく必要に迫られている。その際に大切なのは、今の自分の生活をよりよくするために、創意・工夫していくことが、求められている。	※自己をより創造的に発展させ、新しく進歩したものを積極的に取り入れ、創造し、工夫する態度を育てる。 ○『うさぎのオズワルド』が作れなくなったとき、ディズニーはどんなことを考えたでしょう。 ◎ミッキーマウスの映画が思ったほど売れなかった時、ディズニーは、どんなことを考えただろう。	家庭 「朝食から健康な一日の生活」	<終末> P. 45 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()

六月 (第一週)	自然愛護	[大切な自然環境を守ろう] 7. ジュゴンと共に生きたい (みんなのどうとく)	人間は、開発のために自然を破壊し、動植物が生きる場所を奪ってきた。自然がないと生きていられないのにも関わらず、自分たちの手で自然を破壊しているのである。そのことに気付かせ、自然がどんなに偉大で重大なものなのか知らせたい。さらに、自然や動植物との共存の在り方を積極的に考え、自分にできる範囲で自然環境を良くしていこうとする気持ちを育てたい。	※自然や動植物との共存なしには人間は共存できない事を理解し、失われた自然環境を取り戻していくことの大変さや必要性についての自覚を深める。 ○ジュゴンを守ろうとする東恩納さんたちの活動の話から、真鍋さんはどんなことを考えたでしょう。 ◎人とジュゴンも生きていくためには、どんなことが大切だと考えますか。	国語 「森へ」	<終末> P. 110 の文章と関連する写真を電子黒板に映す。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
六月 (第二週)	希望と勇氣 努力と強い意志	[くじけずに努力する強い意志] 8. 市民に愛される動物園を目指して (みんなのどうとく)	主人公の大変さを自分のめあて実現の経験を想起して、話し合い、自分なりの目標をしっかりともち、困難や辛さにくじけず、努力していく大切さに気づかせ、自分の決めた目標に向かってくじけず前向きに取り組んでいこうとする強い意志を育てたい。	※希望をもつことの大切さに気づくとともに、挫折感を克服する人間の強さにも考えを深め、くじけず、理想に向かって前進していこうとする強い意志を育てる。 ○寄生虫によってゴリラのゴンタが死んだ時 記者会見をした小菅さんはどんな気持ちだっただろう。 ◎廃園の危機にさらされたとき、小菅さんたちはどんな思いでもう一度飼育係によるガイドをしようと決めたのだろう。 ○励ましの手紙などが送られてきたとき、小菅さんはどんな気持ちだっただろう。	算数 「角柱と円柱の体積」 「およその面積や体積」 体育 「短距離走・リレー」 「プール開き」	<終末> P. 18 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
六月 (第三週)	相互理解、寛容	[あなたの立場とわたしの気持ち] 9. お別れ会 (みんなのどうとく)	相手の気持ちや立場を考えて、認め合い許し合う心をもつことは、ひととのかかわりをより気持ちよく、深いものにするために欠くことができない。人とかかわりが希薄になりがちな現在において、謙虚で寛容な気持ちをもって人に対する心の広さを育てることが、強く求められている。	※自分とは異なる立場の意見にも謙虚に耳を傾け、広い心でお互いを認めようとする心を培う。 ○ドライブに行きたかったけれど、友達との約束を優先した直美はどんな気持ちだったでしょう。 ○お別れ会が一方的に延期になって、直美はどんなことを考えていただろう。 ◎なんのためにお別れ会をしようとしていたのか、初めに返って考え直すとなんとなくすっきりしない気持ちになった直美は、どんなことを考えていただろう。		<終末> P. 81 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()

六月 (第四週)	節度、 節制	[自己の可能性を広げる 心のもち方] 10. 自ら可能性を捨てない (みんなのどうとく)	人は誰でも理不尽な事をされれば、怒りや悔しさを感じるであろう。しかし、些細な事に感情をあらわにして自己の正当性ばかりを主張しては、社会生活を送ることは難しい。今自分が目を向けるべきことはどんなことなのか、そして本当に大切な事は何かを考え、必要に応じて感情をコントロールしながら節度を持って行動していくことが大切であることを理解させたい。	※自分の言動を振り返り、感情を上手にコントロールしながら、度を越さないようにつつしんで行動しようという態度を育てる。 ○高校2年生の試合で、ボール球をストライクと審判にコールされたとき、松井選手はどんなことを考えただろう。 ◎松井選手はイライラしたときにそれを態度に出したり口に出したりすると、なぜ自分が苦しむことになると考えているのだろう。 ○松井選手は王さんの話を聞いて、なぜ「格好いい」と思ったのだろう。	家庭 「夏をさわやかに」	<終末> P. 10 を活用する。	保護者・地域 の方の参画	資料 ()
七月 (第一週)	伝統文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	[心のふるさと] 11. ふるさとのあかり (ふるさとの志)	自分自身が生れ育った場所や自然に愛着をもち、郷土のよさを見つけ、郷土を愛する人々の思いを知ることが大切である。そして、その思いに共感することで、さらに郷土を愛し、文化や伝統を発展させようとする気持ちが高まってくる。郷土を大切にし、積極的に継承しようとする態度を育てたい。	※主人公けんじが故郷を思うふさばあさんの心にふれ、その思いに共感していく気持ちを通して、郷土を愛する人々の思いを知り郷土を大切にし、積極的に啓継承しようとする態度を育てる。 ○手にした提灯をビジャッと閉じた時、けんじは、どんなことを思ったでしょう。 ○「町は、ダムに消えても、ふるさを思う気持ちまではきえやあせん。」というふさばあさんの言葉を聞いたけんじは、どんなことを思ったでしょう。 ◎湖面の灯ろうをじっと見つめながら、けんじはどんなことを考えたでしょう。	社会 「ようこそわたしたちの町へ」 「幕府の政治と人々のくらし」 総合的な学習の時間 「平和学習・ヒロシマの声を聴こう」		保護者・地域 の方の参画	資料 ()
七月 (第二週)	生命の尊さ	[自他の生命を尊重して] 12. その思いを受けついで (私たちの道徳)	生命は、祖先から脈々と受け継がれているものであること、そして、他者とも広くつながっているものであることなど生命を多面的に捉えることで、そのかけがえのなさを実感させ、自他の生命を尊重する心を育てていきたい。	※大地の祖父の死を通して、生命のかけがえのなさを知り、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。 ○じいちゃんがあと3ヶ月の命だと聞いた時大地はどんな気持ちだったでしょう。 ○大地は、どんな気持ちで毎日かかさず病院に行ったのでしょうか。 ◎誕生祝いののし袋に書かれた文字を見ている時、大地はどんな気持ちだったでしょう。	「避難訓練」 総合的な学習の時間 「防災学習・地震に備えよう」	P. 104～107 を読む。 <終末> P. 100、101 を活用する。	保護者・地域 の方の参画	資料 ()

九月（第一週）	親切、思いやり	[思いやりの心をもって] 13. 最後のおくりもの (私たちの道徳)	本資料の活用に当たっては、俳優になるのが夢である主人公のロベータの思いや考えを想像させるようにする。また、ロベータの生き方や考え方に大きな影響を与えることになるジョルジュの思いや考えについて十分に話し合わせるようにしたい。ジョルジュからの温かい思いやりに気付くロベータの思いを想像させることで、本当の親切について考えさせていくようにしたい。	* 困っているロベータに対するジョルジュじいさんの心温かな行動に気付かせることで、思いやりとはどのようなものかについて考え、誰に対しても、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。 ○ どんなどころに思いやりを感じましたか。ジョルジュじいさん、ロベータについて考えましょう。 ◎ ジョルジュじいさんのすごいところは、どんなどころですか。	「ふれあい参観日」	P. 66～69 を読む。 P. 62 を活用する。	「ふれあい参観日」 保護者・地域の方の参画	資料（ ）
九月（第二週）	希望と勇氣 努力と強い意志	[夢に向かって] 14. ヘレンと共に－アニー・サリバン－伝記 (私たちの道徳)	人間は生まれながらにして、よりよく生きたいという気持ちをもっている。しかし、希望を抱き、理想を追い求める時、そこにはどんな困難にも負けない強い意志と、確かな実行力が必要となってくる。このような不屈の心に触れさせ、理想を求めて前進しようとする強い意志を育てたい。	* 「目の不自由な人の役に立ちたい」と心に決めた主人公が、教え子と出会い、様々な困難を乗り越えて信念を貫く姿を通して、希望を捨てず、くじけないで努力を続けていこうとする道徳心情を育てる。 ○ アニーは「アニーの教え方は厳しすぎる」と周りの人に言われながらも、根気強くヘレンを指導したのはどうしてでしょう。 ◎ 二人の記念日となった日、アニーはどんなことを考えていたでしょう。	算数 「拡大と縮図」 音楽 「和音の美しさを味わおう」 プールおさめ 生活目標 「運動会の練習をがんばろう」 「運動会」 「音楽会」	P. 22～25 を読む。	地域の方にゲストティーチャーとして、続けて取り組んでいることについて話してもらおう。 運動会 保護者・地域の方の参画	資料（ ）
九月（第三週）	公正、公平、社会主義	[強い心をもって] 15. みんなの人権 (みんなのどうとく)	よりよい社会を実現するためには正義を愛する心が欠かせない。公正や不公平を許さない断固とした気持ちを持ち、力を合わせて積極的に差別や偏見をなくそうとする努力が必要である。特に平等感に基づく人間愛が基本になればならない。	※ だれに対しても差別や偏見をもつことなく公正、公平の大切さを自覚し、社会正義の実現に努めようとする気持ちを育てる。 ○ は、「き、きらいだよ」と言ってしまったのはどうしてでしょう。 ◎ 「ありがとう。じゃあまた親友でいてくれる？」というAちゃんからの返事を見た私は、どんなことを考えたでしょう。	社会科 「新しい時代の幕あけ」 「二つの戦争と日本・アジア」 「平和で豊かな暮らしを目ざして」	<終末> P. 132 の文章とクラス写真を電子黒板に映す。	<終末>でP. 132 下のメッセージを読む。 保護者・地域の方の参画	資料（ ）

九月 (第四週)	感謝	[支え合いや助け合いに感謝して] 16. 黄熱病とのたたかい (私たちの道徳)	英世が夢を実現しようと努力する過程で忘れることなくもち続けた多くの支援者への感謝の念と、その人々の思いに応えたいと願う英世の生き方について考えていくようにする。児童自らが、自分の周りの人々に感謝し、それに応えようとする実践意欲につながるようにしていきたい。	※英世を懸命に支え続けてくれた多くの人々の思いや懸命に努力する英世の姿を通して自分を支えてくれているすべての人に感謝の気持ちを持ち、それに応えようとする態度を養う。		<終末> P. 92～95 を読む。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
				○英世の目頭が熱くなったのは、どんなことを思ったからでしょうか。 ◎反対を押し切ってアフリカへ行った時、英世はどんなことを考えていたでしょう。				
十月 (第一週)	家族愛、家族生活の充実	[家族の一員として] 17. おばあちゃんのさがもの (明日をめざして)	人間は、いつしか年老いていくものであるという現実を通して、今後は、自分が祖父の世話をしようとする言動を考えさせ、祖父を敬愛することの大切さに気づき、思いやりを持って家族に接していこうとする態度を育てる。	※家族の人々を敬愛し、思いやりをもって家族と接していこうとする態度を育てる。		<終末> 「高知の道徳」 P. 56 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
				○おばあちゃんに、次々と不思議なことが起こり始めた時、わたしは、どんな気持ちになったでしょう。 ○「わたし」は、どんな気持ちでその箱をもとの場所にもどしたのでしょうか。 ◎おばあちゃんの車いすを押しながら、「わたし」は、どんなことを考えているでしょう。				
十月 (第二週)	伝統文化の尊重 国や郷土を愛する態度	[郷土を愛する心] 18. 片岡兄弟 (津野町道徳教育地域資料集)	地域や国のために尽くした先人の努力を知ることを通して先人の恩恵によって、今のような生活を営めることに気づき、地域や国に誇りを持つことが出来るようになることが求められる。児童が、自分の生き方を考え、切り開いていく力をはぐくむために、郷土を愛する心情を育てることは大切である。	※郷土を愛する人々の思いを知り、その思いに共感して、郷土のよさを知り、守っていこうとする心情を育てる。	社会 「新しい時代の幕開け」		地域の方にゲストティーチャーとして、「葉山の偉について」話してもらう。 保護者・地域の方の参画	資料 ()
				○直輝・直温のお母さんは、生活が苦しくなり、弟の直温をお寺にあずける時、どんなことを考えたでしょう。 ◎この地域に家を再建したいと思ったお母さんは、どんなことを考えたでしょう。				
十月 (第三週)	友情、信頼	[たがいに信頼し、学び合って] 19. 知らない間の出来事 (私たちの道徳)	社会の情報化が急激に進展し、コンピューターや携帯電話等が普及することによって情報化の影の部分の深刻な社会問題になっている。その危うさについても理解させ、情報機器の活用にあたっては、慎重な行動が不可欠であることも認識させたい。そして、互いに高め合えるよりよい友情関係を築くために大切なことは何かを考えさせたい。	※互いに信頼し合い、友情を深めていこうとする態度を育てる。		P. 76～79 を読む。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
				○あゆみが携帯電話を持っていないことを知ったみかは、どんなことを思ったでしょう。 ◎級友に送ったメールがあゆみを窮地に追い込んだと気づいた時、みかはどのようなことを考えたでしょう。				

十月 (第四週)	感動、畏敬の念	[にくしみをこえた美しい心] 20. 青の洞門 (みんなのどうとく)	人は美しい花を見れば美しいと感じ、美しい行為、気高い心に触れた時感動する。これらの回りくどい説明や解説はイラナイ。カントのいう「利害打算を超えた満足感」に通ずるものである。しかし、今美しいものを見ても美しいと感じない無感動な子どもが多いといわれる。自己中心的風潮の表れである。自分の事しか考えないということではなく、献身、犠牲の精神や行為の気高さ、美しさに感銘出来るようにしたい。すなわち、美しいもの、清らかなものを素直に感じる心を育てることが大切である。	※美しいものや崇高なものを尊び、清らかな心をもとうとする心情を養う。	社会科「国づくりへの歩み」	P. 115 の毛利衛さんの文章を読む。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
				○「この岩をくりぬいて道をつくろう。」と考えたとき、了海はどんな気持ちだっただろう。 ○石工たちが、次々と立ち去ってまた一人になったとき、了海はどんな気持ちだっただろう。 ◎洞窟の中で、二人がしっかりと手を握り合ったとき、実之助は了海を見ながら、どんなことを考えていただろう。				
十一月 (第一週)	個性の伸長	[じぶんのよさを生かして] 21. 天女、再び宇宙へ (みんなのどうとく)	千秋さんの探求心や好奇心をもち絶えず努力し、自分の長所を伸ばそうとしたり、短所を改めたりする気持ちをもつことが、自分らしさを生かすことになることをつかめるようにする。	*能力や性質等、自分の持っている個性や特徴を把握し、自分の良さや得意な部分を伸ばして、自分の人生の中で生かしていこうとする態度を育てる。		<終末> P. 51、52 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
				○意欲あふれる仕事ぶりで実験をこなしている千秋さんは、どんなことを考えているか。 ◎千秋さんが宇宙飛行士になれたのはなぜだと思いますか				
十一月 (第二週)	善悪の判断、自律、自由と責任	[人との交流と責任] 22. 有線電話から携帯電話へ (みんなのどうとく)	携帯電話に代表される情報機器は、そもそも何のために開発されたのだろうか。それは、人と人とが心を通わせるため、つまりは、人々の幸せのためである。しかし、昨今、情報機器を使った不幸な出来事が増えている。このような時代を生きる子ども達に、正しい情報モラルを身につけさせることは、緊急の今日的課題の一つである。	※便利な道具を利用する自由を大切にする一方、その目的に合った責任を果たそうとする態度を養う。	人権 携帯電話のマナー 「ちょっと待ってケータイ」		保護者・地域の方の参画	資料 ()
				○駅で有線電話をかける男の子は、どんな気持ちだろう。受けたお母さんはどんな気持ちだろう。 ◎昔も今も変わらない電話の本当のよい点は、どこでしょう。				

十一月 (第三週)	よりよく生きる喜び	[よりよく生きるために] 23. 生き方を学ぼう (私たちの道徳)	人間は、誘惑に負けたり楽な方へと流されたりする弱さをもっていると同時に、その弱さを乗り越える強さも併せ持っている。人間の持っている弱さを率直に認め、その弱さを乗り越えようとする心の強さが人間のすばらしさであることに気づかせたい。そして、先人の生き方を通して、夢や希望のあるよりよい生き方について考え、実践しようとする態度を育てたい。	※ほこり高い生き方をした先人の言葉から人間の強さや気高さについて考え、夢や希望など喜びのある生き方をしようとする態度を養う。 ○先人の言葉から考えたことをみんなで話し合いましょう。 ◎自分の弱さと真正面から向き合うとはどのようなことだろう。		P. 192 の先人の言葉から考える。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
十一月 (第四週)	礼儀	[礼儀は心の表れ] 24. 江戸しぐさ (明日をめざして)	礼儀は、毎日の生活の中で、みんなが気持ちよくさわやかに暮らすために、欠くことのできないものである。古代からお互いを尊重し、人間関係を円滑にしていくなためにいろいろな礼儀作法が伝わっている。一つ一つの礼儀作法には、相手の事を考えて接していこうとする意味合いが必ずある。形とともに、そうした意味も理解して、真心を込めた礼儀正しい接し方をしようとする態度を育てたい。	*礼儀は心の様子を表すことを知り、心のこもった礼儀を大切にして時と場に応じて礼儀にかなった生活をしようとする態度を育てる。 ○「江戸しぐさ」についてどう思いましたか。 ◎江戸の町に住む人たちは、なぜ「江戸しぐさ」を大切にしていたのでしょうか。	「挨拶運動」	<終末> P. 58、59 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
十二月 (第一週)	よりよい学校生活、集団生活の充実	[自分の役割を自覚して] 25. 小川笙船 (私たちの道徳)	役割のあるところには、その役割を必要とする人がいる。そのことに気付いた時に、児童は、自分の果たすべき役割を自覚できる。笙船の生き様から、役割を自覚することの大切さや責任を果たそうとする思いを感じ取らせ、主体的に役割や責任を果たそうとする態度を育てたい。	※定吉若い医師に接する笙船の姿から、自分の立場や役割を自覚し、主体的に役割や責任を果たそうとする態度を育てる。 ○笙船が、殿様に訴えたのは、どんな考えからでしょう。 ○養生所で貧しい病人を診ながら医者育てる笙船を支えているものは、何でしょう。 ◎自分の役割について、笙船の生き方から学べるところは、どんなところですか。		<終末> P. 146～149 を読む。	保護者・地域の方の参画	資料 ()

十二月 (第二週)	友情、 信 頼	[親友] 26. 明日香と弥生 (明日をめざして)	真の信頼関係の基盤は、相手の立場に立てる、相手のみになって考えられるという思いやりであり、愛情である。そのうえに、ごまかしたり裏切ったりしない、つまり良心に恥じない誠実さが加わってこそ、真の信頼関係が成り立つのである。友情の本当の姿は、人と人との信頼関係であり、互いの切磋琢磨である。従って、互いに助け合い、励まし合い、忠告しあうことが大切である。	* 互いに理解し合い学び合い、信頼し合って、真の友情を育てていこうとする心情を育てる。 ○明日香が学芸会に出られないと分かった時、弥生はどんな気持ちになったでしょうか。 ◎弥生からの手紙を読んでいる時、明日香はどんな気持ちだったでしょう。		<終末> P. 72～73 を活用する。	保護者・地域 の方の参画	資料 ()
			児童が健康な自己像を描くためには、自分のよさを見出し、それを発揮できること、しかも自分の心に誠実であることが必要である。自分をよく見せたいという気持ちは、だれもがもつものであるが、その一方で、自分をよく見せたいと思うあまり、自分の心にそぐわないものと本当の気持ちとの間で、葛藤が起こることがよくある。自分のよさは、自分の心に誠実であるところに発揮されることを考えさせていきたい。	※自分に誠実に、明るい心で生活しようとする気持ちを育てる。 ○かっこいい詩を作らなくてはと悩んできた和枝さんが、ぴったりの詩を見つけた時、どんな気持ちになったでしょう。 ◎先生に全て打ち明ける決心をした時、和枝さんはどんなことを考えていたでしょう。		<終末> P. 40、41 を活用する。	保護者・地域 の方の参画	資料 ()
十二月 (第三週)	正直、 誠 実	[自分の心に誠実に] 27. のりづけされた詩 (みんなのどうとく)	国を愛する心は、郷土での様々な体験等に積極的かつ主体的に関わることを通して、郷土を深く愛する心が育まれる。高学年においては、郷土や我が国の発展に尽くし伝統と文化を育てた先人の努力を知るとともに、自分もまた、それを継承し、発展させていくべき責務があることを自覚し日本伝統と文化を大切にしていこうとする態度を育てたい。	※剣道の稽古の目的は、勝つことを目指すだけでなく、人間性を磨いていくことにありと気付いた主人公に共感することを通して、日本の伝統と文化を大切に、自らも受け継いでいこうとする態度を養う。 ○剣道を習い始めて3年になる主人公は、どんな思いで練習をしているのでしょうか。 ◎いつも重かった防具が、心なしか軽く感じられたのは、主人公の心にどのような変化があったからだろうか。		<導入> P. 168～169 の抜粋したものをスライドで映す。 P. 164、165 を活用する。 <終末> P. 92～95 を読む。	保護者・地域 の方の参画	資料 ()
			国を愛する心は、郷土での様々な体験等に積極的かつ主体的に関わることを通して、郷土を深く愛する心が育まれる。高学年においては、郷土や我が国の発展に尽くし伝統と文化を育てた先人の努力を知るとともに、自分もまた、それを継承し、発展させていくべき責務があることを自覚し日本伝統と文化を大切にしていこうとする態度を育てたい。	※剣道の稽古の目的は、勝つことを目指すだけでなく、人間性を磨いていくことにありと気付いた主人公に共感することを通して、日本の伝統と文化を大切に、自らも受け継いでいこうとする態度を養う。 ○剣道を習い始めて3年になる主人公は、どんな思いで練習をしているのでしょうか。 ◎いつも重かった防具が、心なしか軽く感じられたのは、主人公の心にどのような変化があったからだろうか。		<導入> P. 168～169 の抜粋したものをスライドで映す。 P. 164、165 を活用する。 <終末> P. 92～95 を読む。	保護者・地域 の方の参画	資料 ()
一月 (第二週)	伝統文化の尊重 国や郷土愛する態度	[日本の伝統や文化を大切に する心] 28. 人間をつくる道 一剣道一 (私たちの道徳)	国を愛する心は、郷土での様々な体験等に積極的かつ主体的に関わることを通して、郷土を深く愛する心が育まれる。高学年においては、郷土や我が国の発展に尽くし伝統と文化を育てた先人の努力を知るとともに、自分もまた、それを継承し、発展させていくべき責務があることを自覚し日本伝統と文化を大切にしていこうとする態度を育てたい。	※剣道の稽古の目的は、勝つことを目指すだけでなく、人間性を磨いていくことにありと気付いた主人公に共感することを通して、日本の伝統と文化を大切に、自らも受け継いでいこうとする態度を養う。 ○剣道を習い始めて3年になる主人公は、どんな思いで練習をしているのでしょうか。 ◎いつも重かった防具が、心なしか軽く感じられたのは、主人公の心にどのような変化があったからだろうか。		<導入> P. 168～169 の抜粋したものをスライドで映す。 P. 164、165 を活用する。 <終末> P. 92～95 を読む。	保護者・地域 の方の参画	資料 ()

一月 (第三週)	希望と勇気 努力と強い意志	[勇気を持って困難に立ち向かおうとする心] 29. 維新のさきがけ —吉村虎太郎— (津野町道德教育地域資料)	虎太郎が、何不自由のない生活を捨て、命を懸けて世の中を変えようとした彼の「志」に触れさせたい。また、国や郷土のために勇気をもって行動したことで、多くの人々を守ったということを知り、虎太郎のようにどんな困難にも勇気と強い意志をもち、自分の夢に向かって突き進んでいこうとする態度を育てたい。	※郷土の偉人の生き方を知る中で、自分自身も勇気を持って困難に立ち向かい、自分の夢に向かい一生懸命がんばろうとする態度を育てる。 ○村民のくらしが苦しいことを知った虎太郎は、どんなことを考えたでしょう。 ○虎太郎は、何不自由なく暮らしていたのになぜ、庄屋の職を捨て、家族を捨てて脱藩したのでしょうか。 ◎完成した銅像を見ながら、地域の人たちは、どんなことを考えていたでしょう。	算数 「資料の調べ方」 総合的な学習の時間 「未来に向かって」 「スキー研修」		地域の方にゲストティーチャーとして「地域の偉人」についての話を聞く。 保護者・地域の方の参画	資料（ ）
一月 (第四週)	公正、公平、社会主義	[公正、公平な態度で] 30. 愛の日記 (私たちの道徳)	いじめは、その差別や偏見が具体的な行為となって表れたものである。差別や偏見がなく、正しいこと「公正」が誰に対しても、いつでもどこでもこひいきなく「公平」に行われるところに正義が生まれる。その正義の実現がいじめのないよりよい集団や社会の形成につながる。差別や偏見のない社会の実現に努めようとする心情を育てたい。	※差別や不平等、偏見に立ち向かい、誰に対しても公正・公平に接し、正義の実現に努めようとする心情を育てる。 ○愛は、どうしてリャンちゃんに声をかけられなかったのでしょうか。 ○父がいじめにあっていたという話を聞いて、愛は、どんなことを考えていたでしょう。 ◎愛が澤田先生から学んだこととは、どのようなことでしょうか。		P. 136～139 を読む。 ＜終末＞ P. 133 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料（ ）
二月 (第一週)	勤労、公共の精神	[みんなに奉仕する心] 31. うちら “ネコの手” ボランティア (明日をめざして)	ボランティア活動は、みんなの幸せを求め、共に学び、共に生き、共に支え合いながら、地域社会を構成する一人として、社会参加していく活動である。ボランティア活動で大切なのは、偏見と差別のない人権尊重の精神に根ざした強制と平等の意識であり、お互いを思いやることの出来る心情である。この学習では、人のためになる仕事から得られるものの大きさを感得し、勤労の意識をさらに深めていけるようにすることが重要である。	*勤労の意義を知り、進んで人のためになる仕事をしようとする心情を育てる。 ○おばさんに怒られたとき、麻美はどんなことを考えたでしょうか。 ◎麻美は、どんな気持ちでクッキーをもって仮設住宅へ行こうとしたのでしょうか。	生活目標 「自分の係の仕事がんばろう」	＜終末＞ P. 154 を活用する。 ＜事後指導＞ P. 155 の」「自分にできるボランティア活動」について考える。	保護者・地域の方の参画	資料（ ）

一月 (第二週)	親切、思いやり	[ひそかな親切] 32. 美しい心 (きみがいちばんひかるとき)	アンリの立場と自分の置かれている立場を対比的に扱い、相手にできないことを考え、相手の願いを叶えるために自分ができることをすることの大切さに気づき、誰に対しても温かい気持ちで接しようとする態度を育てたい。	※相手の気持ちや立場を考え、温かい気持ちで接しようとする態度を育てる。 ○給料がもらえず、食べるためのお金が残りわずかになった時、今道はどんなことを考えていたでしょう。 ○「この本を読んでいる方がよっぽど役に立つ」と一冊の本を手渡された今西は、どんな気持ちだったでしょう。 ◎アンリの優しい心に胸を打たれ、熱い涙がにじみ出てきた今道は、どんなことを考えていたでしょう。			保護者・地域の方の参画	資料 ()
二月 (第三週)	真理の探究	[生活に工夫] 33. 紙づくりの偉人 (ふるさとへの志)	この時期の児童は、各教科や総合的な学習の時間などを通して、知識を基にしながら、感じたことを表現したり、物事に対処したりしていく姿が見られる。しかし、困難に出会うと、新しいことへの工夫や挑戦を面倒がり、現状に甘える傾向を見せることがある。そこで、創造的で知的な活動を通して問題意識を高めたり、興味や関心を刺激したりして、自分の生活を工夫していくことの大切さを感じ取らせ、よりよい生活を築いていこうとする態度を養っていくようにしたい。	*進んで新しいものを求め、創意工夫をして生活をよりよくしていこうとする心情を育てる。 ○源太は、どんなことを考えながら、すき具作りに打ち込んでいたのでしょうか。 ○源太はどんなことを考えながら、薄くて強い紙づくりに励んでいたのでしょうか。 ◎「一筋に往くと思えど臍かな」と詠んだ源太のことをどう思いますか。			保護者・地域の方の参画	資料 ()
三月 (第一週)	国際理解、国際親善	[世界の平和のために] 34. 義足の聖火ランナー (明日をめざして)	我が国の伝統と文化に対する尊敬の念と併せて理解できるようにしていく必要がある。また、単に国際理解にとどまることなく、日本人としての自覚を持って、積極的に外国の人と接したり、交流の場に参加したりするなどして、国際親善に進んで努めようとする心情を育てたい。	*今、世界の国の人たちがどのような状況にあるかということを知り、国際理解に進んで努めようとする心情を育てる。 ○カンボジアに行って、クリスさんが地雷を取り除く活動に参加したとき、どんなことを考えていただろう。 ◎地雷で自分の手足までも奪われてしまったのに、チャリティーマラソンをしたのはどんな気持ちからだろう。		<終末> P. 176, 177 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()
三月 (第二週)	礼儀	[心を表すことば] 35. 気持ちとことば (ゆたかな心)	礼儀とは、人と人との関係における心と形のありようをいい時・場・相手によって異なる。心がこもった言い方や態度で、真心が伝わることに気づき、礼儀の大切さを自覚して真心をもって接していこうとする態度を育てたい。	※時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する態度を養う。 ○「ソーリー」の美しい響きを思い出しながら、わたしは、どんな気持ちだったでしょう。 ○花屋の主人が「わたしのほうがお礼を言いたいくらいだ」と言ったのは、どんな気持ちからでしょう。 ◎「わたし」が、二人の会話の様子を聞いてどんなことを考えたでしょう。	「挨拶運動」 「卒業式」	<終末> 「高知の道徳」 P. 42 を活用する。	保護者・地域の方の参画	資料 ()